

施策 4 ハード・ソフト両面からのユニバーサルデザインの
まちづくりを進める
取組項目 2 誰もが社会参加しやすいまちをつくる

[事業番号 33] ユニバーサルデザインの理解の促進

1 事業内容

社会の中にある様々なバリアや立場の違う方の状況に気づき、共感し行動するユニバーサルデザインの考え方への理解を深め、多様な人がともに暮らし、支え合える社会を実現していくため、子どもから大人までユニバーサルデザインについて学ぶことができるよう、区立小・中学生を対象とした体験教室や大人向けの地域講座を拡充する。

2 令和 10 年度末目標

- ・ユニバーサルデザインの体験教室の開催 25 校
- ・ユニバーサルデザインの地域講座の開催 11 回(ステップアップ講座含)

3 令和 7 年度の取組

- ・ユニバーサルデザイン体験教室の開催 22 校 (令和 8 年 1 月末現在)
- ・地域講座の開催 6 回
- ・ステップアップ講座の開催 2 回

講座	開催校・回数	主な内容
ユニバーサルデザイン体験教室	22 校 (令和 8 年 1 月末現在)	障害当事者講師によるワークを通して障害理解・ユニバーサルデザインの考え方を学ぶ教室
地域講座	6 回	大人向けに開催するユニバーサルデザインを学ぶ講座 <ul style="list-style-type: none"> ・今さら聞けないユニバーサルデザインの基本 ・ユニバーサルマナー検定 3 級 (3 回開催) ・【新規】グラフィックユニバーサルデザイン ・【新規】ユニバーサルワーク
ステップアップ講座	2 回	地域講座でユニバーサルデザインの基礎を学んだ方を対象に、車いす、白杖、高齢者体験を通じてさらに学びを深める講座

4 受講後のアンケート結果（自由意見。一部抜粋）

（1）ユニバーサルデザイン体験教室

- ・いろいろなユニバーサルデザインをしれた。
- ・自分と違う＝間違っているということではないことを改めて実感した。
- ・社会にはいろいろな人がいるということをした。
- ・人は、それぞれ違う事がわかった。見た目で、決めつけては、いけないとわかった。
- ・困っている人がいたら声をかけたりしようと思えるようになった。
- ・ユニバーサルデザインについてもっと詳しく知り、自分以外の人の気持ちをわかりたい。

（2）地域講座

- ・普段気にしてなかったことの気づきがあった。
- ・知りたかったことを知ることができた。
- ・デザインのビフォーアフター、どこを変えれば見やすいかわかりやすくなるかがわかりためになった。
- ・配慮する項目がこんなにもあるとは思っていなかったなので、今回参加できて良かった。
- ・相手の気持ちに寄り添うことが大切だと改めて理解した。
- ・もっと深く理解したいと思った。
- ・人と接する仕事をしている中で、知りたかった事柄を、分かりやすく学べた。

（3）ステップアップ講座

- ・知識として知っていても実際の体験はできないのでとても貴重な学びだった。
- ・障害者の立場になって考えることができました。
- ・実体験することで、得られる感覚は特別。多くの人に体験してもらいたい。小学生への教育は大変意義あることと思う。

5 令和8年度の取組（予定）

- ・ユニバーサルデザイン体験教室の開催 20校
- ・地域講座の開催 6回
- ・ステップアップ講座の開催 2回
- ・【新規】小中学校へのUD体験グッズ指導員派遣